

令和4年度第7回岩村地域自治区運営協議会役員会

日時：令和4年12月16日（金）19時30分

場所：岩村コミュニティセンター2階大会議室

1) はじめに

2) 会長あいさつ

3) 議事

- ・ 令和5年度の地域のまちづくり活動補助金事業審査について 議題1
- ・ 旧岩村振興事務所の活用について 議題2
- ・ 岩村地域自治区運営協議会会長選考委員会について

4) 報告事項

- ・ 中学校統合について 資料1
- ・ 旧給食センター及び旧教員住宅の活用について 資料2
- ・ 令和5年度各種審議会・委員会（地域自治区選出）について 資料3
- ・ 御船岐阜恵那太陽光発電事業に関する協定について 資料4
- ・ 恵那市の出生数等の状況について 資料5

5) その他

次回 第8回岩村地域自治区運営協議会

令和5年1月 日（ ） 午後7時30分 岩村コミュニティセンター

令和5年度地域のまちづくり活動補助金事業審査について

1. 公募結果

ホットいわむらだより10月号で公募(R4.11.15.〆切)した結果、5事業の応募

2. 令和5年度申請予定事業

下記5事業申請。

地域単独事業

順位	事業名	目的	活動内容	総事業費	申請金額	備考
1	町並みの賑わい創出・地域活性化事業	商店街の賑わいの創出及び地域活性化 空き店舗・空きスペースの入居推進	・いわむら城下町のひなまつり開催 4/1～4/3	1,300,000	500,000	継続 H28～
2	交流人口拡大・活性化事業	地域の活性化と関係人口の拡大 地域住民の意識改革	・いわむら城下おかげまつりの開催 ・ふるさとゆかりの郷協定市町との交流	1,200,000	500,000	継続 H28～
3	いわむら体験プログラムまるごと提供事業	目線の違う町の楽しみ方の提案 観光客の滞在時間の延長 リピーターの獲得 地域イメージの向上 地域資源・人的資源の掘り起こし	・体験プログラムの提供(いわむら五っこ) ・田んぼ体験(田植え、稲刈り) ・文化伝承(土びな作り) ・秋のふれあいウオーキング ・トラクターイルミネーション ・まちなか子ども作品展	1,020,000	500,000	継続 H29～
4	歴史文化の伝承・保存事業	子供から大人まで幅広い層に至るまでの「人づくり」「心そだて」を活かしたまちづくりの推進に図る。	・木版に刻まれた言葉の現代語訳のデジタルデータの作成(QRコード) ・木版の交換・補修	520,000	500,000	継続 R2～
5	いわむら城下町 路地カラ事業	岩村城下町を路地から活性化させる。観光客、ヨソモノの目で良いところを探す。住民自らの手で路地からのブラッシュアップ。地元もヨソモノも住みたくなるまちづくり	・手描き地図づくり ・路地カラ！参加型ホームページ構築と公開 ・各種参加体験型イベント	555,000	500,000	継続 R4～
計				4,595,000	2,500,000	

旧岩村振興事務所庁舎を活用した 先人顕彰拠点施設の整備について

令和4年10月

旧岩村振興事務所利活用検討委員会

1. 先進施設視察の実施

嚶鳴広場(愛知県東海市)

- 2015(平成27)年完成
- 市直営
- 鉄骨鉄筋コンクリート造5階建内の2階フロア
- 延床面積484.5m²
- 主な部屋:展示エリア、図書閲覧、学習エリア

江戸時代の教育者、細井平洲が説いた「恕」の心を学ぶことができる施設。童門冬二氏の全著作が閲覧可能。平洲や日本の先人について映像機器を使って分かりやすく学ぶことができる。



平洲記念館(愛知県東海市)

- 1974(昭和49)年完成、2000(平成12)年増築
- 市直営
- 鉄筋コンクリート造2階建
- 延床面積925.79m²
- 主な部屋:展示室(2室)、ホール(図書閲覧、展示)、講義室、収蔵庫、事務室、トイレ

東海市の先人である細井平洲の直筆資料(書画が中心)を展示。講義室では毎月講座を開催。郷土資料館を併設。



塙保己一記念館(埼玉県本庄市)

- 2015(平成27)年完成
- 市直営
- 鉄筋コンクリート造平屋
- 延床面積328.00㎡
- 主な部屋:展示室(1室)、ホワイエ、収蔵庫、作業室、倉庫、機械室、事務室、トイレ

盲目の国学者、塙保己一の遺品及び関係史料の実物を展示。八角形の展示室を一周する中で、塙保己一の生涯を追う。



渋沢栄一記念館(埼玉県深谷市)

- 1995(平成7)年完成
- 市直営
- 鉄筋コンクリート造2階建
- 延床面積2,232.74㎡
- 主な部屋:展示室(1室)、収蔵室、会議室(2室)、図書室、体育室、事務室、トイレ

郷土の偉人渋沢栄一の活躍を史料や写真パネルで年代順に紹介。渋沢栄一アンドロイド講義、企業版ふるさと納税が特徴。



尊徳記念館(神奈川県小田原市)

- 1955(昭和30)年完成、1987(昭和62)年改築
- 市直営
- 鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建
- 延床面積3,912.36㎡
- 主な部屋:展示室(1室)、視聴覚室、図書室、事務室、収蔵庫、宿泊室、食堂、講堂、研修室、トイレ

二宮尊徳生誕地に建つ記念館。尊徳の生涯と功績をアニメや立体模型を使って視覚的に展示。部活動等の宿泊にも利用可能。



報徳博物館(神奈川県小田原市)

- 1983(昭和58)年完成
- 財団直営
- 鉄筋コンクリート造地下1階地上3階
- 延床面積1,163.52㎡
- 主な部屋:展示室(常設1室、企画展示2室)、準備室、収蔵庫、図書閲覧コーナー、事務室、トイレ

展示室では資料とパネルで尊徳の一生と教えを紹介。学芸員による定期講座も開催されている。会員からの会費収入が財源。



松下資料館(京都府京都市)

- 1994(平成6)年完成 ※10年程前、現在地に移転
- 財団直営
- 鉄筋コンクリート造8階建内の3階フロア
- 延床面積828.00㎡
- 主な部屋:展示室コーナー、映像ブース(4室)、庭園シアター、
講話室、経営図書館、事務室、トイレ

コンセプトは「松下幸之助と心の対話をする場」。生き方や教えを伝える講話、庭園シアターや豊富な映像資料がある。



2. 先進施設視察の検証

(1) 視察の感想

【松下資料館】

- ・教えをコンセプトにした施設。展示品が並び解説パネルで紹介する一般的な資料館との違いが鮮明。
- ・目新しくきれいな展示、威圧感がなく、居心地がいい。
- ・何度も行って教えを乞いたい、悩んでいることにヒントをもらいたいと思わせる。
- ・講話により教えを学んでから、展示を見る動線が効果的。
- ・パネルに情報を詰めた近代的な展示を、佐藤一斎に置き換えるのは困難か。

【尊徳記念館・報徳博物館】

- ・アニメや立体模型で視覚的な展示が特徴の尊徳記念館と、書物など最小限の資料展示とし講話で補う報徳博物館の差別化が見られた。

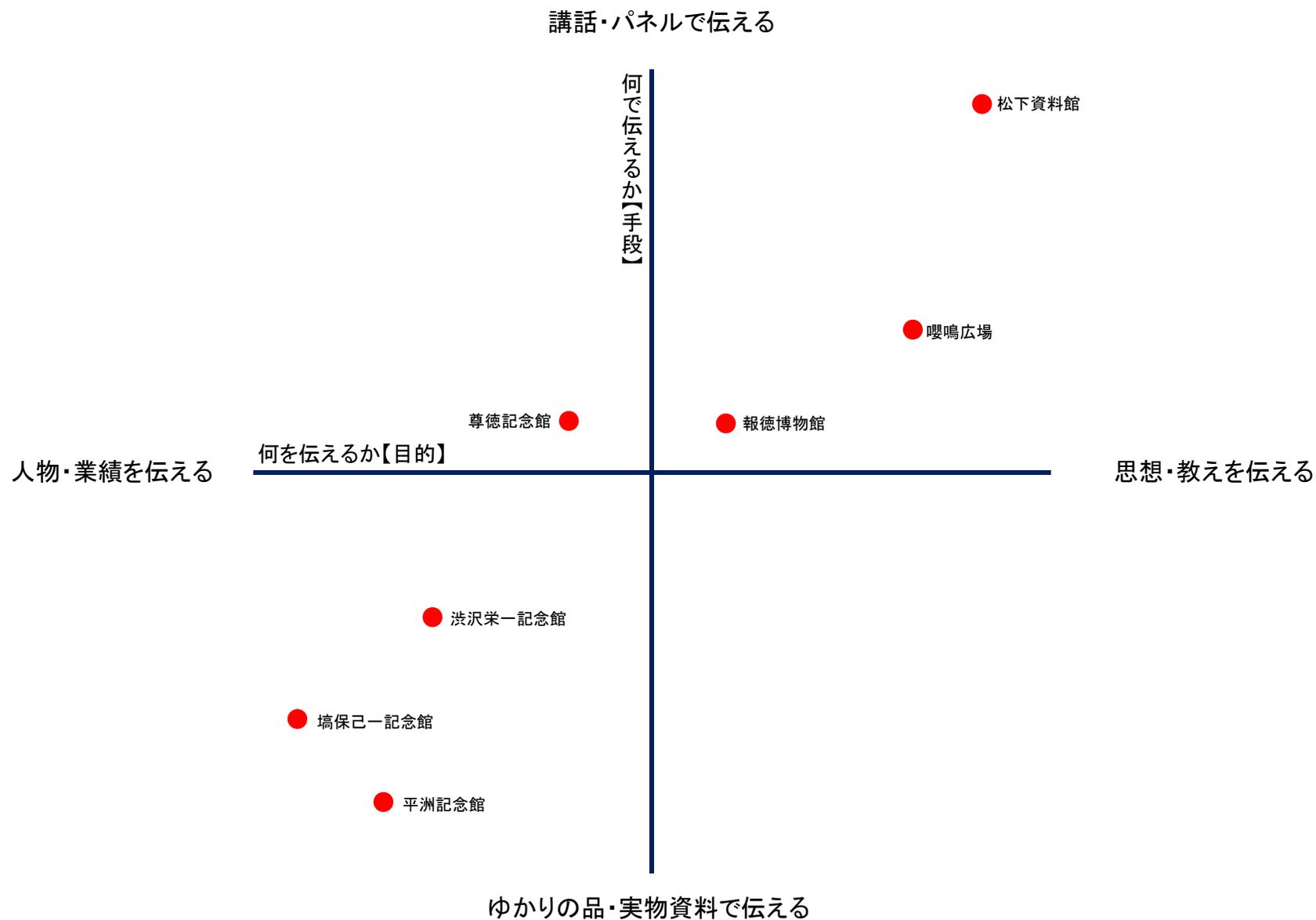
【嚶鳴広場】

- ・丸みのある展示台やパネル展示が簡易な壁面、ガラス板と背景を合わせた立体展示、天井のデザインなど、展示レイアウトに新しさを感じる。
- ・学生の学習スペースもあり、展示ペースが違和感なく溶け込んでいる印象が良い。
- ・細井平洲の門人の紹介は、佐藤一斎も同じことができるため参考になる。
- ・嚶鳴協議会の自治体間で資料借用や先人の紹介など、ネットワークが築ける。
- ・掛軸や書籍など実物を展示するスペースがあるのも良い。

【平洲記念館】

- ・資料展示の解説文の文字サイズや内容が見やすいよう配慮されている。文字を大きくしたり平易な文にするのは重要に感じた。
- ・立派な講義室があったが、最初にガイダンス的な講話があり、展示見学するルートができると、効果的に見学できる。

(2) 施設の分析



3. 先人拠点施設の整備イメージ

(1) コンセプト

佐藤一斎の教えを伝える施設

～一斎先生と対話し、現代に生きる教えを体感する～

5つのポイント

- ① 佐藤一斎の現代でも生きる教えを前面に出す
 - ② 何度も行ってみたいくなる施設(リピーター)
 - ③ 居心地のいい施設
 - ④ 子どもから大人まで楽しみながら学びができる施設
 - ⑤ まち全体を含めた訪れる価値を生む雰囲気づくり
- 他のどこにもない、日本一の施設を目指す！



(2)コンセプトを実現するための**施設方針**

①佐藤一斎の現代でも生きる教えを前面にす

- ・年代や目的に合わせた講話メニュー
- ・講話やガイダンスをはじめに受け、展示へと誘導する流れ
- ・ICTやAIを活用し、一斎先生との対話ができる仕掛けづくり

②何度も行ってみたいくなる施設

- ・本物(実物資料)の資料の展示だけに偏らない展示レイアウト
- ・その時の心に合った教え(言葉)がもらえる個々への対応

③居心地のいい施設

- ・シンプルながら良質で疲れさせない展示
- ・基調色を使った空間づくり
- ・直線的ではない丸みを生かしたレイアウトや椅子・ソファの効果的な設置
- ・自由で強制的ではない動線

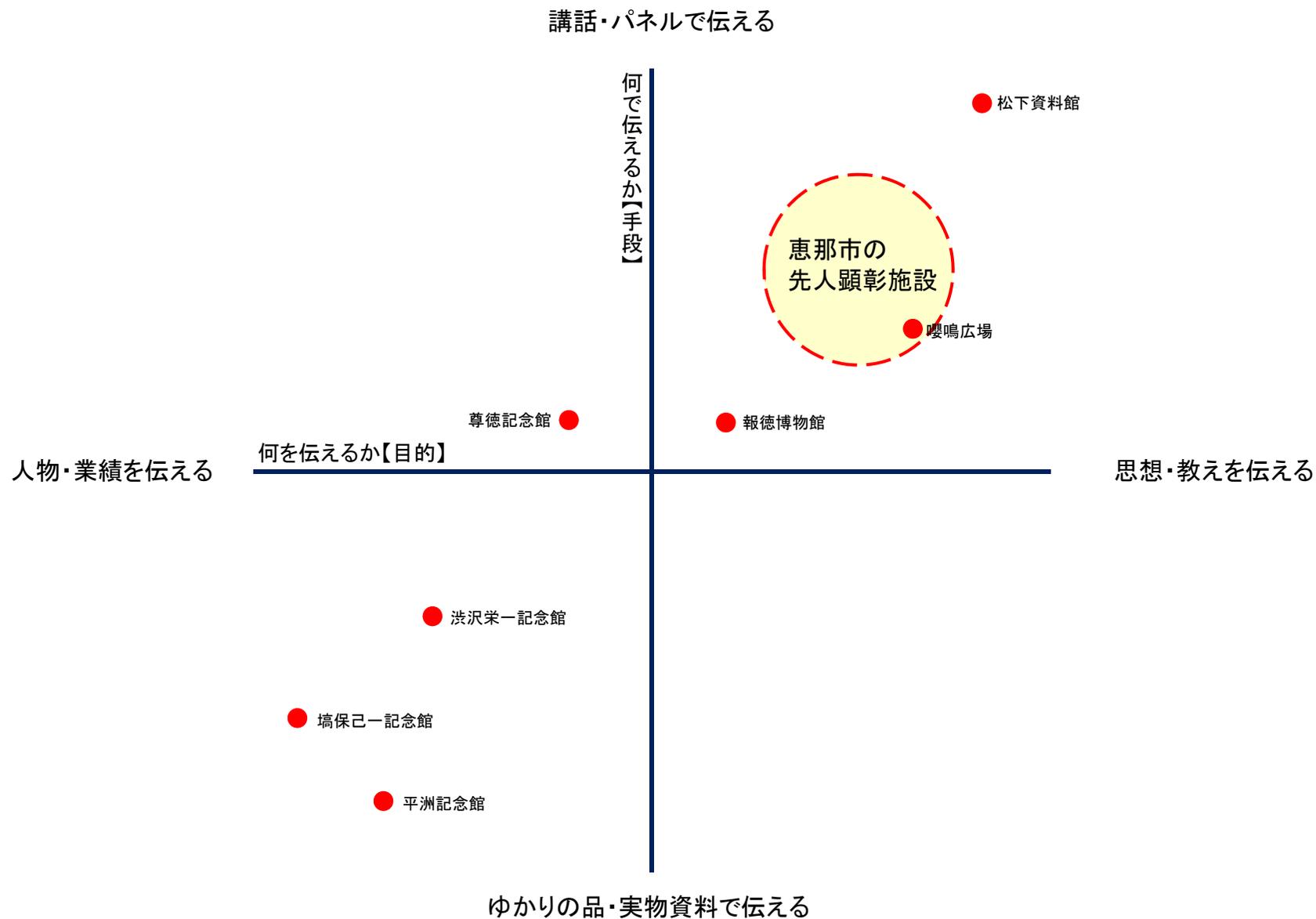
④子どもから大人まで楽しみながら学びができる施設

- ・年代や目的に合わせた講話メニュー(再掲)
- ・「見る」のではなく「感じる」学びの場

⑤訪れる価値を生む、まち全体を含めた雰囲気づくり

- ・いわむら城下町(石碑、銘板)との連携
- ・ネットでは手に入らない価値づくり(まちの雰囲気・地元の人とのふれあい)

(3)施設の位置づけ



(4) 必要な施設(部屋・区画)と機能 ～ハード整備～

施設

- ・講話室、セミナールーム(社会見学や企業研修に対応可能)
- ・展示室
- ・受付
- ・事務所(スタッフルーム)
- ・収蔵庫
- ・作業室
- ・トイレ

機能

- ・人による講話
- ・映像ガイド
- ・子ども向けコーナー
- ・休憩(くつろぎ)スペース
- ・個々への対応(AI・映像)



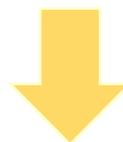
(5)期待される**事業展開** ～ソフト展開～

事業内容

- 校外学習やワークショップを通じたふるさと学習の実践
- 年代や目的に合わせた講話メニューの設置
- 記念館を拠点とした定期講座や講演会の開催
- アニメや紙芝居を使った佐藤一斎と言志四録の解説
- 個々に応じた言志四録の教えを解説
- 広報紙の発行、書籍・グッズの販売

全国展開・効果波及

- 佐藤一斎の教えの全国ブランド化(認知度向上、交流関係人口づくり)
- 岩村城や城下町と連動した滞在型観光の造成
- 社会見学や企業研修など人物観光の受け入れ
- 嚶鳴協議会参加自治体間の連携強化
- サポーター・サポート企業の獲得



いわむら一斎塾の
知見・人財を注入

地域の活性化 子どもたちの郷土愛の醸成

令和4年12月2日発行



恵那市教育環境等検討委員会だより

恵那市教育委員会 学校再編対策室

第1回委員会

◇開催日 令和4年8月30日(火)

◇委員長・副委員長の選任について

委員長は飯地地域自治区会長の瀧澤佳恭さん、副委員長には地域学校協働活動推進委員の宮地喜義さんが選任されました。

◇恵那南地区の課題について

初回の会議では、委員会の取り扱う事務「恵那南地区の望ましい学校教育環境について検討する」ことをうけ、恵那南地区の教育環境として課題となっている、恵那南地区中学校再編について、経緯と現状について説明しました。

(内容)

- ・経緯について（※1 答申書の提出まで）
- ・答申内容
- ・統合に向けての課題の検討について
- ・保護者説明会の意見について

(委員の主な意見)

- ・この委員会で何を検討するのか。役割はなにか。
- ・答申が出ているのに、なぜ進めなかったのか。
- ・当事者意識をもつ小学生やこども園の保護者の意見を多く吸い上げながら、統合に向けて委員会でスピーディーに進めないとターゲットが変わってしまう。
- ・「統合についての検討は済んでいると思っていた。」
「場所さえ決まっていないのは話にならない。」等、多数の意見がありました。



第2回委員会

◇開催日 令和4年10月26日(火)

◇当委員会の役割について

当委員会の役割は「恵那南地区の望ましい学校教育環境について検討し、恵那市教育委員会へ提言すること、委員会で合意されました。

◇前回会議の意見のまとめから

委員会では、恵那南地区の教育環境の一番の課題は「早急に、恵那南地区中学校の統合を進める」として、委員会で合意されました。

また、平成28年3月に示された答申書の内容を踏まえ、委員会では子どものことを一番に考えることを重点に、特に重要な検討事項として通学方法、開校時期、新校の場所について検討されました。

(検討内容)

- ・通学方法については、答申では明知鉄道の利用が明記されていましたが、子ども達の安心・安全と通学の負担軽減を考えスクールバスが望ましい。
- ・開校時期については、急速な生徒数の減少が及ぼす教育環境の影響を考え子ども達のために早急に統合し、令和7年度(案)開校を目標にしてほしい。
- ・場所については、当初の答申で示された山岡町で1校とし、早く進めるために、新築から既存の山岡中学校校舎を増築又は改築し活用してほしい。検討された内容は、次回作成する提言書に盛り込むこととしました。



※1 諮問機関（行政）の問いを受け、回答として意見を述べる場合です。

恵那南地区中学校再編について、平成28年3月に恵那南地区中学校再編委員会より教育委員会へ答申されました。



恵那市教育環境等検討委員会だより

第3回委員会

◇開催日 令和4年11月29日(火)

◇前回会議の決定事項

- ①統合中学校は、山岡町で1校とし、既存の山岡中学校を活用する。
 - ②スクールバスの通学を基本とする。
 - ③早急に統合準備委員会を立ち上げる。
- 以上のことについて、委員会で再確認されました。

開校時期については、前回、事務局への宿題として、開校までの時系列について示すよう依頼されましたので、その報告を受けた後、決めていくことになりました。

事務局からは、①新中学校統合の準備委員会の立ち上げ、②スクールバス、③新中学校建設（増改築）についてスケジュールが示されました。

- ① 準備委員会では、多くの決め事をする必要があるため、専門部会（3部門）を立ち上げて決めていくことが必要である。
- ② スクールバスについては、各地域でルートを定め、必要なバスの台数を報告。中型5台、マイクロバス1台、ワゴン2台購入する必要がある。購入には1年半から2年必要。
- ③ 新中学校建設（増改築）では、基本設計や実施設計、工事をするとなると、3年は必要である。



（委員の意見）

- ・2年で統合すると決めて、結果3年かかるという話になると、またかと思う。前回のように、5年後に統合すると決めたのに、また今度ものびるという不信感にもつながる。ちゃんとこの年なら開校できると確信がもてる時期にしていきたい。
- ・この統合を一番心配しているのは関係している子どもたちや保護者であると思うので、その関係者の思いを受け止めて丁寧な説明をすることが必要であるし、受け止めることが大切。統合までの間に丁寧に話を聞き細かいところを決めていきたい。
- ・地域への説明もしながら、保護者の意見を大切に決めていきたい。

等、意見をいただいたあと、提言書に盛り込んでいく開校時期を令和8年度開校と決定されました。

最後に、提言書（案）の作成を委員長と副委員長に一任されました。

◇委員長・副委員長の挨拶

○委員長

委員会では恵那南地区の課題であった、恵那南地区中学校の統合について、多くの意見をいただき、この検討委員会で方向性を決め、提言内容が決まったことに対しお礼申し上げます。今回、恵那南地区の未来の子どもたちの為の教育環境として、本当に考える機会ともなりました。目標の提言ができましたので、この委員会は最後となります。ありがとうございました。

○副委員長

皆さんの力を借りて、これからの未来、無限の力を持っている子どもたちに良い機会を与えられたと思います。その子どもたちが、恵那に生まれてよかった、学べて良かったと思える中学校を作っていたきたいともいます。

本当にありがとうございます。

◇今後のスケジュール

委員長及び副委員長、委員長が推薦する委員と共に、12月中旬頃に恵那市教育委員会へ提言書を提出すると決められました。

旧給食センター及び旧教員住宅の活用について

						資料2
団体名	使用したい建物	代表者	施設での事業内容	目的	事業内容	使用日数・時間
一般社団法人セカンドベース東濃	教員住宅1棟 (2世帯分)	代表理事 井戸 健 司	複合的・社会的居場所事業の運営	近年のひきこもりや不登校、8050問題、障がいなどなどで困窮や孤独、孤立等による社会的排除の状況で悩んでいる当事者や家族に対し、社会参加ができるための居場所、社会への出番を促し自立へ向けた支援活動を行う。恵那市における「見守り助け合うしくみづくり、安心して住み続けられる まちづくり」また、高齢者の生きがいづくり、地域ぐるみの子育て支援、地域の方との交流が自由に行えるような居場所づくりを目指し地域コミュニティの構築に貢献を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・よろず相談支援 ・なんでも傾聴 ・フリースペース（誰でも交流） ・就労体験、訓練（地域の方のお手伝等） ・社会参加のための講座開設 ・地域の方との交流、イベント等の開催、地域行事等の参加・ボランティアなど ・恵那市社会福祉課、恵那市社会福祉協議会地域福祉課、その他関係団体等とのネットワークによる協働で、対象者の自立、就労へ向けた支援を行う。 	月曜～金曜日/週5日40h以上（9：00～17：00）土・日・祝休み
(一社)恵那市観光協会 岩村支部	教員住宅2棟 (4世帯分)	支部長 渡會充晃	シェアハウス、シェアワークスペースとしての活用	岩村町という、この素晴らしい土地・素材・人々などの情報を国内外に発信する人材を確保する。 発信した情報により、岩村町を知り、訪問してもらい、最終的には岩村町への移住定住に繋げることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力のある人材(クリエイター)の生活・仕事の場(シェアハウス・シェアワークスペース)としての活用。 →市内・市外のクリエイターに仕事をしてもらいながら、岩村町の情報発信もして頂く 	
該当なし	給食センター					

令和5年度 各種審議会・委員会等一覧

資料3

行政各種審議会名	令和4年度		令和5年度		備考	提出期限
	氏名	団体及び住所等	氏名等	住所等		
恵那市交通安全対策協議会	浅野信之		事務所から依頼		5,6年度	3月31日
恵那市交通安全対策協議会	大島美子	自治連代表	事務所から依頼	新年度自治連副会長	5年度自治連副会長	3月31日
シルバーセーフティーアドバイザー	松井善行		事務所から依頼		5年度	3月17日
シルバーセーフティーアドバイザー	浅野信之		事務所から依頼		5年度	3月17日
地域安全指導員	石田照雄		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	度會充晃		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	小川裕夫		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	西尾久人		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	田中利定		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	竹内直子		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	西尾麗巳子		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	三宅正明		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	河田文仁		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	堀尾佳裕		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	西尾昭治		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
地域安全指導員	三園了三		事務所から依頼		5,6年度	3月24日
恵那暮らしサポートセンター	宮澤博光	地域自治区代表	宮澤博光	地域自治区代表	4.5年度	
共同募金恵那市市会理事	鈴木繁生	地域自治区代表	鈴木繁生	地域自治区代表	4.5年度	
恵那市緑化推進委員会	細井健吉	地域自治区代表	○		5年度	4月21日
恵那市南部幹線道路改良促進協議会	西尾公男	地域自治区代表	○		5,6年度	3月31日
恵那市南部幹線道路改良促進協議会	熊崎勝広	飯羽間財産管理組合組合長	事務所から依頼		5,6年度	3月31日
恵那市南部幹線道路改良促進協議会	山本耕嗣	富田を良くする会	事務所から依頼		5,6年度	3月31日
恵那市歴史的風致維持向上計画協議会	鈴木繁生		鈴木繁生		4.5年度	
恵那市営住宅入居者選考委員会	山本さちよ		山本さちよ		4.5年度	
リニア中央新幹線対策協議会	西尾公男	地域自治区代表	○		5,6年度	3月24日
恵那市上下水道事業経営審議会	西尾公男	地域自治区代表	○		5,6年度	3月24日
不法投棄監視員	中根敏雄		事務所から依頼		5,6年度	3月31日
不法投棄監視員	三園了三		事務所から依頼		5,6年度	3月31日
恵那市スポーツ推進委員	三宅祥市		三宅祥市		4.5年度	
恵那市スポーツ推進委員	里恵津子		里恵津子		4.5年度	
恵那市三学のまち推進委員	森川彰夫		森川彰夫		4.5年度	
恵那市廃棄物減量等推進審議会	水野隆造	自治連代表	事務所から依頼	新年度自治連副会長	全地域自治区から1名に変更	3月中
恵那市女性防火クラブ			二区会長	依頼済み	5年度	3月中
恵那市女性防火クラブ			六区副会長	依頼済み	5年度	3月中
地域学校協働活動推進員	宮地 喜義	恵那市岩村町730-17	宮地 喜義		5,6年度	3月中
地域学校協働活動推進員	吉村 綾子	恵那市岩村町富田2535-2	無し		5,6年度	3月中

御船岐阜恵那太陽光発電事業に関する協定について

平成28年、飯羽間3区大平地内で計画されました太陽光発電所開発事業が、その後二転三転するなか大阪の御船ホールディングス株式会社により「御船岐阜恵那太陽光発電所」として、令和5年春頃に着工することになりました。

こうしたなか、恵那市では太陽光発電所周辺の環境や自然災害への懸念がある太陽光発電設備の設置を防止するため、平成30年9月「太陽光発電設備設置に関する条例」を制定し、さまざまな意見により令和3年6月には同条例の一部改正を行いました。

岩村町では3区自治会を中心に4区自治会、観光協会岩村支部、自治連合会、地域自治区運営協議会が約6年間に渡り、開発による災害防止、環境保全等を重点に協議を重ね12月11日付けで協定書が締結されました。

建設工事期間は18ヶ月を予定、完成すれば事業面積191,000㎡、事業規模11,000kwと、発電出力は市内でも最大規模の太陽光発電施設となります。

※工事スケジュール、詳細図面は確定次第ホットいわむらだよりにてお知らせします。

恵那市の出生数等の状況について

企画課
(単位：人)

1. 出生数の状況

	H29	H30	R1	R2	R3					R4		
					4-9月	10月	小計	11-3月	合計	4-9月	10月	合計
大井町	121	105	84	92	38	11	49	29	78	54	9	63
長島町	63	60	59	48	26	5	31	17	48	31	9	40
東野	12	21	9	10	2	0	2	4	6	4	3	7
三郷町	12	13	7	6	4	1	5	2	7	6	0	6
武並町	10	19	12	12	6	0	6	5	11	7	0	7
笠置町	4	4	5	4	2	0	2	0	2	0	1	1
中野方町	5	8	4	7	4	1	5	3	8	2	0	2
飯地町	0	5	1	1	0	1	1	3	4	1	0	1
岩村町	22	31	27	24	15	1	16	7	23	7	0	7
山岡町	14	18	12	11	5	1	6	5	11	4	1	5
明智町	19	13	17	17	5	0	5	3	8	7	1	8
串原	2	3	2	0	1	0	1	0	1	1	0	1
上矢作町	7	5	2	3	2	0	2	1	3	0	0	0
合計	291	305	241	235	110	21	131	79	210	124	24	148

※上記人数は外国人を含む。

出典：市民課

2. 人口と高齢化率の状況

(単位：人、世帯、%)

	H18	H28	R3	R4. 11. 1	H28比	高齢化率 H29	高齢化率 R3	高齢化率 R4. 11. 1
大井町	13,631	13,275	13,037	12,806	△ 3.53	27.39	29.53	30.04
長島町	10,345	9,827	9,417	9,313	△ 5.23	28.10	29.77	29.97
東野	1,826	1,734	1,670	1,642	△ 5.31	32.09	35.52	35.80
三郷町	2,733	2,500	2,329	2,252	△ 9.92	36.80	39.15	40.18
武並町	3,368	3,187	3,070	2,976	△ 6.62	32.23	32.72	32.69
笠置町	1,566	1,305	1,198	1,138	△ 12.80	40.57	44.06	44.55
中野方町	1,874	1,633	1,518	1,439	△ 11.88	40.70	42.54	43.64
飯地町	818	678	616	570	△ 15.93	44.75	45.14	45.26
岩村町	5,605	5,208	4,831	4,639	△ 10.93	33.49	34.68	34.81
山岡町	5,318	4,502	4,027	3,857	△ 14.33	38.20	41.17	42.26
明智町	6,683	5,711	5,094	4,815	△ 15.69	40.47	43.36	43.77
串原	975	824	745	687	△ 16.63	47.21	50.14	49.92
上矢作町	2,636	2,057	1,729	1,591	△ 22.65	45.50	51.07	52.85
合計	57,378	52,441	49,281	47,725	△ 8.99	33.28	35.28	35.69
世帯数	18,737	19,588	19,895	19,885	1.52			

※人口は住民基本台帳人口・高齢化率（各年 10. 1 現在）で外国人を含む。

出典：市民課、高齢福祉課

3. 小学校入学児童数の状況

(単位：人)

	H30	R元	R2	R3	R4
児童数	402	430	377	348	346

※学校基本調査（各年 5. 1 現在）

出典：学校教育課